

1 レインフローの施工にあたり

施工上のご注意とお願い

- 本商品ご採用の際は、「設計者」「設備工事店」「土木工事店」「雨樋工事店」で十分なお打ち合わせのうえ、ご施工をお願いします。

設計者様へ

- ・本商品は、積雪地(中雪地域・多雪地域)での設計・施工はお避けください。
(積雪区分は、設計・施工条件をご確認ください。)
- ・本商品は、雨水排水能力が少ないため負担する屋根面積が大きな場合は、他のたてといの併設をご検討ください。
(屋根投影面積が5m²を超える場合を目安としてください。)
- ・本商品の長さは、3300mmです。継ぎ足しはできませんので、事前にご施工される物件の高さをお確かめください。
- ・本商品は、軒先や庇(ひさし)の出寸法が455mm以上の壁面から離れた場所へのご施工をおすすめします。
- ・本商品は、雨天時に風速6m/s以上の風が吹くと商品を伝う雨水が飛散することがあります。
(風速6m/sとはグラウンドの砂が舞い上がり砂煙が発生しあげる状況です。)
- ・本商品の効果(親水機能)が発揮されるまでに施工後数週間、必要になる場合があります。

各工事店様へ

- ・地中への排水設備
本商品の施工位置をご確認のうえ、地中への排水設備のご施工をお願いします。
- ・地面(犬走りなど)の処理について
本商品の施工位置をご確認のうえ、地中排水設備と地面の処理をお願いいたします。
- ・本商品の採寸および切断は慎重に行い、切断面のバリはヤスリなどで必ず取り除いてください。

2 取り付け可能な住宅用軒とい

形状・寸法(単位:mm)

サーフェスケア FS-II型	サーフェスケア FS-I型	ファインスケア NF-I型	KAKU RK85	グランスケア PGR60
 177 139 100 1.2 86	 138 101 75 1.0 77	 128 120 100 1.2 71.5	 110 105 95 1.2 85	 110 95 75 1.0 70
シビルスケア PC77	シビルスケア PC50	ジェイスケア PJ70	パラスケア U105	
 145 100 90 1.0 75	 110 76 75 1.0 51	 124 70 80 1.0 50	 114 50 92 1.0 50	

※レインフローは、軒といの水勾配1/1000～水勾配なしでの施工をお願いします。

※レインフローは、「アイアン角」「アイアン丸」「ハイ丸」には取り付けできません。

3 標準施工手順

施工手順

施工手順①～③ 「専用ドレンの位置決め・取り付け」

- 事前のお打ち合わせにより決定している地中への排水設備位置を確認し、軒といの底部にφ55の穴を開け、専用ドレンを施工する。

施工手順④ 「調整部材・排水管カバーの取り付け」

- 地中埋設管(JIS管VP・VU50)に排水管カバーを施工する。

施工手順⑤ 「たてとい本体の取り付け」

- 専用ドレンと排水管カバーの寸法を計測し、本体を施工する。

施工手順⑥ 「落葉よけカバーの取り付け」

- 軒とい内部の専用ドレンに落葉よけカバーを施工する。

お願い

- 油分の付着した軍手などの使用は避けてください。
光触媒コーティングの「親水機能」が発揮されにくくなります。
ふき取る場合は中性洗剤を希釈して、必要箇所のみ、少しずつ除去してください。
- 表面に接着剤などが付着しないようご配慮ください。
接着剤などの除去困難な付着物の場合、製品の交換となります。
- 切断など加工時は表面に傷が付かないようご配慮ください。
光触媒コーティングの「親水機能」が発揮されなくなります。

施工後 確認

清掃・廃材の処理

ポイント項目

■軒とい底部の加工部分のバリはきれいに取り除き、専用ドレンとの隙間が出ないように調整ください。(水漏れ防止のため)

■専用ドレンと地中埋設管の位置を「下げ振り」などを使い確認ください。専用ドレンと地中埋設管の中心のズレは30mm以内としてください。
※事前のお打ち合わせにより決定した地中埋設管の位置には木杭などでのマークをおすすめします。

■専用ドレンと排水管カバーの中心にズレが生じている場合は、調整部材で偏芯調整してください。

■本体切断時のバリはヤスリなどできれいに除去してください。
本体開梱後は表面に傷が付かないように取り扱いはていねいにしてください。
本体は、他の部材と接着しないでください。

■落葉よけカバーの取り付けは、専用ドレンの上からパチンと音がするまで押し込んでください。
(押し込みが不十分の場合、落葉よけ機能を発揮しません。)

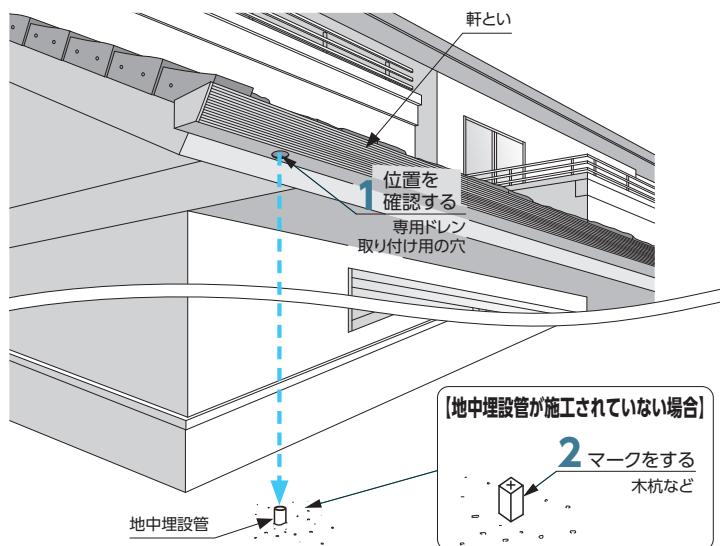
4 施工手順

【①専用ドレンの位置決め】

1 地中埋設管が施工済みの場合は、軒とい底面から事前のお打ち合わせにより決めている地中埋設管の位置に「下げ振り」などを使用して専用ドレン取り付け位置を確認する。

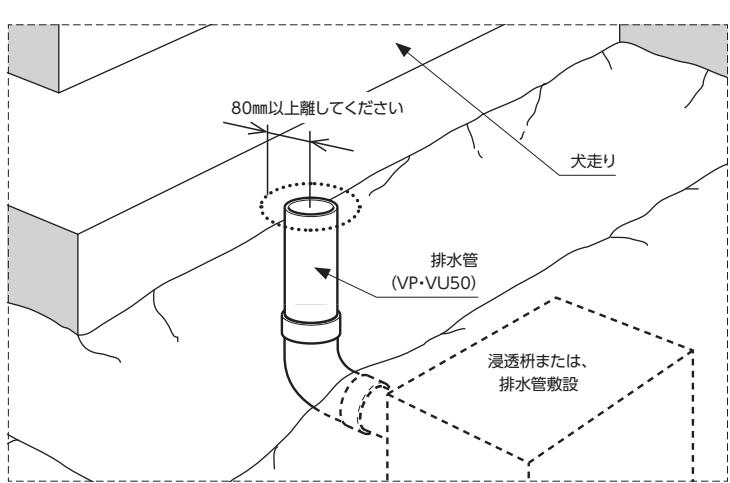
2 地中埋設管の施工がされていない場合は、事前のお打ち合わせにより決定した地中埋設管の位置に木杭などでのマークをすることをおすすめします。

※地中埋設管のサイズは、JIS管(VP・VU50)で雨水排水が可能になるように設定ください。



【(参考)排水管カバーの施工前に犬走り部にコンクリートを打設する場合】

- 地中埋設管の周囲約80mmの範囲にはコンクリートを打設しないでください。
調整部材、排水管カバーが施工できなくなります。
必ず、排水管カバー施工後に打設いただくか、
玉砂利を敷くなどして地面の仕上げ処理をしてください。

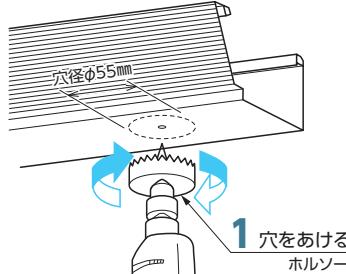


【②専用ドレンの取り付け(軒といの穴あけ加工)】

1 専用ドレンを取り付ける位置にホルソーまたは、エグリバサミで穴を開ける。

2 加工部分のバリをきれいに取り除き、軒とい底部に隙間が出ないように取り付ける。
(水漏れ防止のため)

【ホルソー使用の場合】

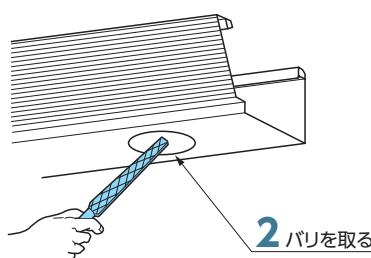


【エグリバサミ使用の場合】



ポイント

- 軒といの穴あけ加工部には接着剤を塗布して防さび処理をしていただくことをおすすめします。



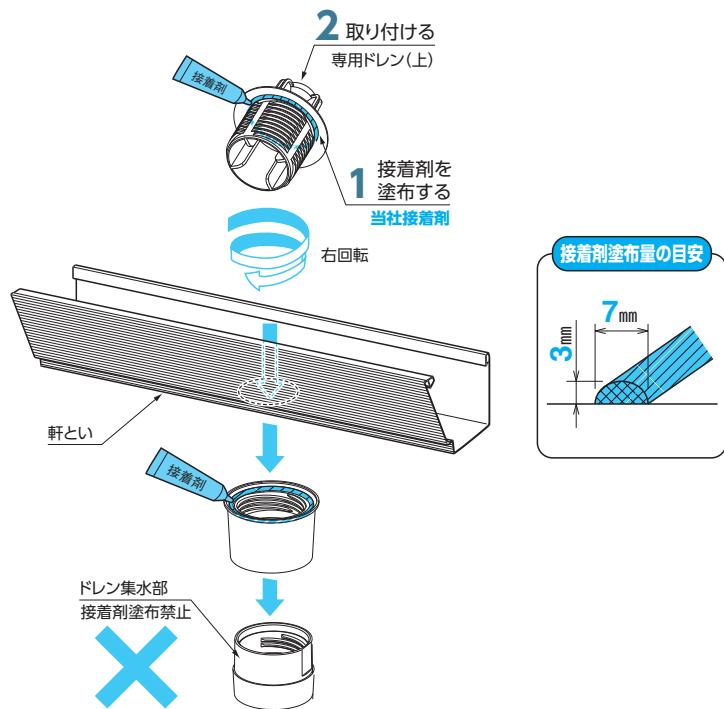
レインフロー／たてといの施工方法

【③専用ドレンの取り付け】

- 1 専用ドレン(上)のツバの裏側と専用ドレン(下)の接着面に接着剤を全周ひも状に切れ目なく塗布する。

お願い

- 当社品以外の接着剤を使用すると、変形・割れが発生するおそれがありますので、必ず当社接着剤をお使いください。
- 当社品でも、塗布量が多くすぎると変形・割れが発生することがあります。
- 特に高耐候性仕様の商品の場合、接着剤を増し塗りしたり、当社タニシールなどシーリング材を使用したりすると、変形や割れが発生しやすくなりますのでおやめください。



- 2 専用ドレン(上)と専用ドレン(下)を、軒といの穴を開けた部分に取り付ける。

お願い

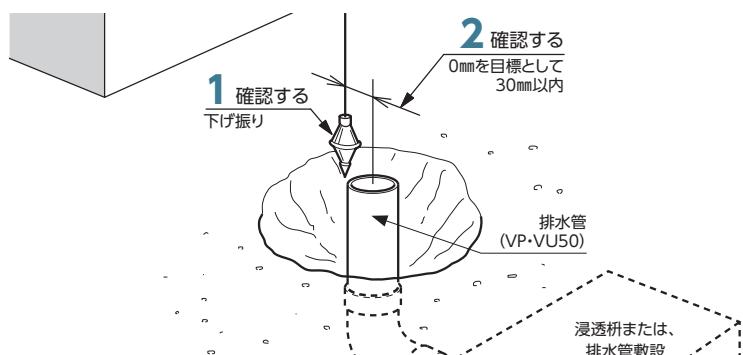
- ドレン集水部は絶対に接着しないでください。掃除ができなくなります。



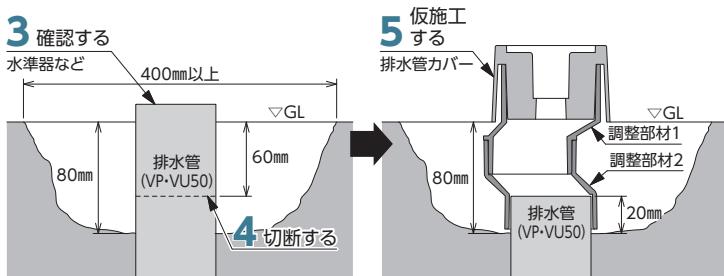
■接着剤は必ず接着剤塗布位置に塗布する
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

【④調整部材・排水管カバーの取り付け(調整部材を取り付ける前に)】

- 1 事前のお打ち合わせにより決めている位置に地中埋設管が設置されているか「下げ振り」などで確認する。



- 3 地中埋設管が垂直に取り付けられているか、水準器などで確認する。

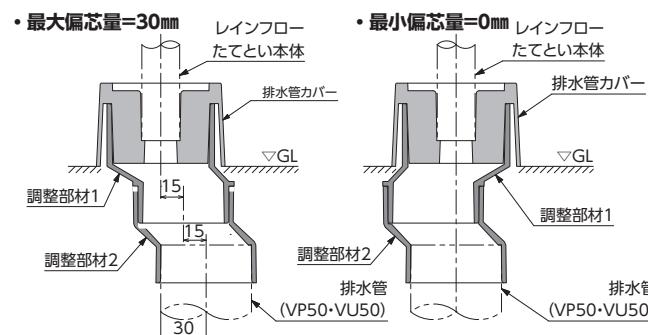
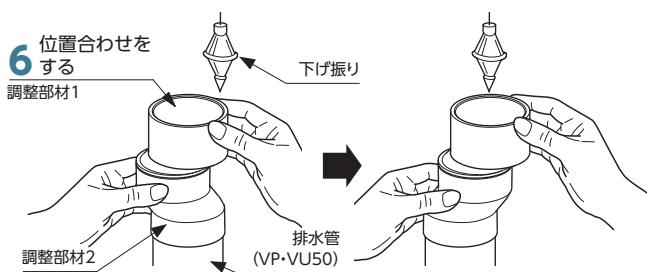


- 4 調整部材の取り付けのため地中埋設管の周囲を深さ約80mm以上掘り、地中埋設管をGLから約60mm下がった位置で切断する。

- 5 調整部材1と調整部材2を仮施工後、排水管カバーを仮施工する。

レイインフロー／たてといの施工方法

- 6** 「下げ振り」などで専用ドレンと排水管カバーの中心にずれが発生しないように調整部材を使用し位置合わせをする。
調整部材の偏芯調整量は、0～30mmの範囲です。

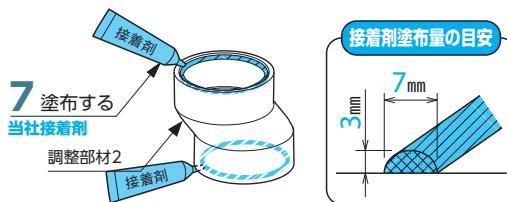


- 7** 位置が決まつたら調整部材2の内面上下に全周ひも状に切れ目なく塗布する。
(当社接着剤)
(水漏れ防止のため)

- 8** 地中埋設管、調整部材、排水管カバーを施工する。

お願い

- 排水管カバーと調整部材は接着しないでください。
排水管カバーと調整部材を接着すると掃除ができなくなります。



必ず守る

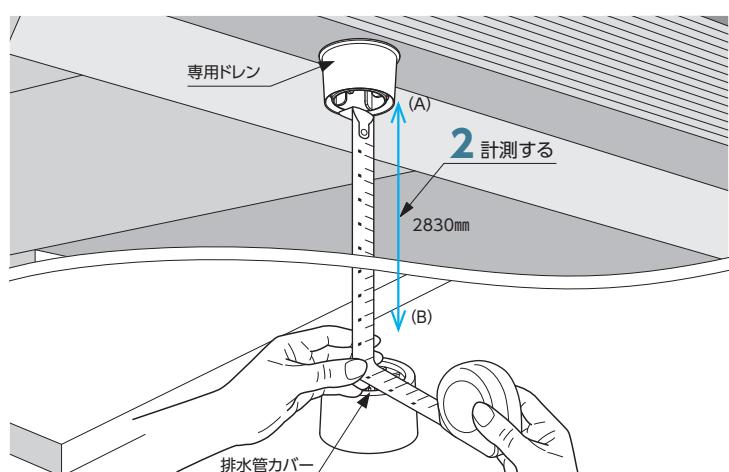
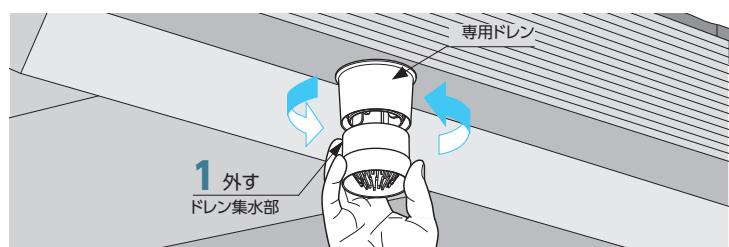
- 接着剤は必ず接着剤塗布位置に塗布する
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

【⑤たてとい本体の取り付け】

- 1** ドレン集水部を外す。
2 右下図を参照に専用ドレンの下端部(A)から排水管カバー上部(B)までを計測し、その値に60mmをプラスした値を算出し、その値でたてといを切断する。

お願い

- 油分の付着した軍手などの使用は避けてください。
光触媒コーティングの「親水機能」が発揮されにくくなります。
ふき取る場合は中性洗剤を希釀して、
必要箇所のみ、少しづつ除去してください。
- 表面に接着剤などが付着しないようご配慮ください。
接着剤などの除去困難な付着物の場合、製品の交換となります。
- 切斷など加工時は表面に傷が付かないようご配慮ください。
光触媒コーティングの「親水機能」が発揮されなくなります。

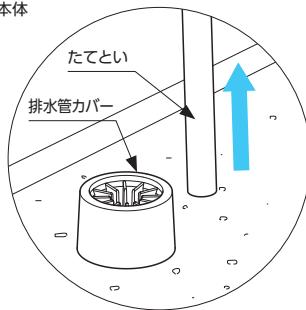
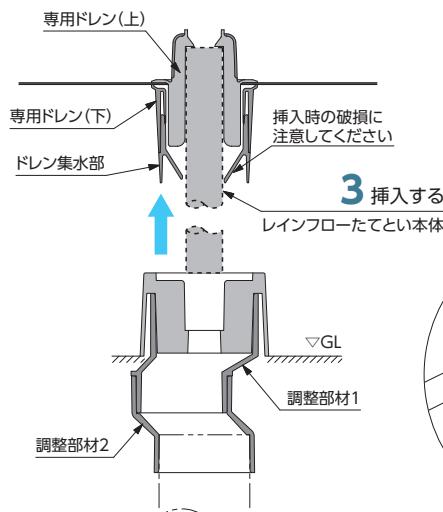


レインフロー／たてといの施工方法

3 たてといでドレン集水部を破損しないように注意し、専用ドレン上の上端までたてといを挿入する。

お願い

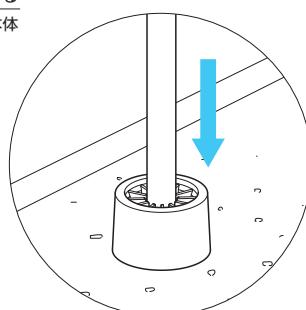
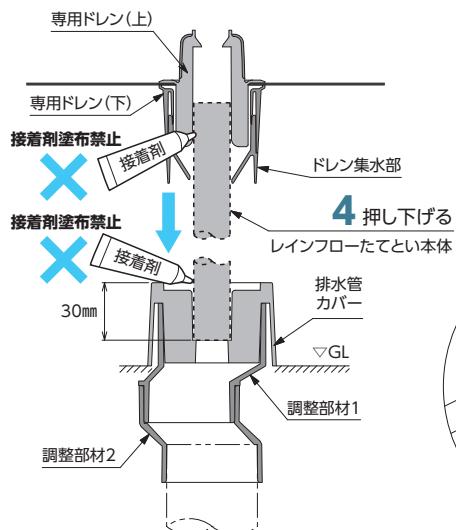
- たてといの垂直性に十分注意ください。
- たてといは接着しないでください。
垂直性が損なわれますと意匠性が著しく低下します。たてといを接着すると掃除ができなくなります。



4 たてといを排水管カバーに挿入し30mm下の固定部まで押し下げる。

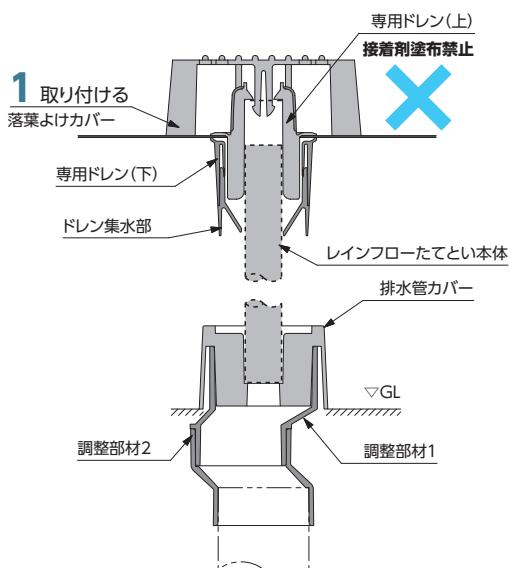
お願い

- たてといは他の部材と接着しないでください。
たてといを接着するとお手入れができません。



【⑥落葉よけカバーの取り付け】

1 落葉よけカバーを取り付ける。



■たてといの上端部が軒とい底面より上にきていないか確認する
降雨量が多い場合、排水できなくなり、建物を傷めるおそれがあります。

